

広報

Tsuchiura Public Relations

【平成25年 1月1日発行】

つちうら

1

January
2013
No.1090



寒さに負けず花を咲かせる
アイスチューリップ

【霞ヶ浦総合公園風車前広場】

CONTENTS

- 2 ... 年頭のごあいさつ
- 4 ... 新庁舎建設だより
- 6 ... 特集・朝日トンネル



あけまして
おめでとうございます

年頭のごあいさつ

土浦市長 中川 清

新

年明けまして、おめでとうございます。
います。

平成25年の初春を市民の皆様と共に迎えられる慶びをかみしめております。

昨年は、あの忌まわしい大震災、巨大津波、そして原発事故からの復興元年としてスタートいたしました。多事多難な一年でありました。

海外に目を向けますと、ギリシャの財政破綻がヨーロッパ諸国に波及し、世界経済への影響も懸念されるところとなりました。

また、韓国大統領の竹島上陸による日韓関係、尖閣国有化に伴う日中関係の悪化、更に北朝鮮のミサイル発射等々、日本を取り巻く東アジアの緊張が高まっております。

一方、国内に目を向けますと、ロンドンオリンピックでの若いアスリート達の活躍、山中伸弥教授のノーベル賞受賞など、明るいニュースもありましたが、円高・



デフレ、貿易収支の大幅赤字、雇用の悪化、ねじれ国会での決められない政治、年末の政党乱立での総選挙、そして、再びの政権交代、まさに内憂外患、21世紀の新しいパラダイムを創らなければならない大事なときにもかかわらず、大変不安定な一年でありました。

そのような内外情勢の中、土浦市にとりましては、次の世代に引き継いでいくための新たな礎を築く極めて重要なスタートの年でありました。

新治村との合併6年目を迎え、地域の一体感が醸成される中、合併特例債事業に位置付けた10事業の内、朝日トンネルの完成、新治地区公民館の建替えや小町の館リニューアルの着工、消防庁舎、市営斎場の移転・建替えの進捗、そして、市役所本庁舎の半世紀ぶりの街中移転^{まちなか}の決定など、議会そして多くの市民のご協力を得て、事業が着々と進み、土浦市全体の都市活力の増進につなげることができました。

ソフト面では、ロンドンオリンピックピックとパラリンピックにおいて、土浦出身の3名の選手の活躍、将来の土浦、そして日本を背負う子ども達の教育、小中一貫教育について2年間の研究成果の発表があり、市内すべての一貫教育への夢が広がりました。

人口減少、グローバル化時代へと、変革の波は、様々な場面ですます大々となります。

今年は、こうした変化にも柔軟に対応しながら、私のまちづくりの基本姿勢であります「行財政改革」と「市民の皆様との協働のまちづくり」の推進の一層の取り組みにより、持続可能な「水・みどり・人がきらめく安心のまち 活力のまち 土浦」の実現に向けた新たな飛躍の年にしたいと思います。

本年が、市民の皆様にとって、素晴らしい一年でありますことを祈念し、新年の挨拶といたします。



新庁舎建設だより③

新庁舎の位置が

イトーヨーカドー土浦店跡に

決定しました

昨年12月に開催された第4回市議会定例会で、新しい市役所の位置を定める条例が可決され、大和町9番1号「イトーヨーカドー土浦店跡」への移転が決定しました。

現在の市役所は、昭和38年に建てられたもので、半世紀を経て駅前を中心市街地へ移転することになります。新庁舎は、市民の皆さんの利便性の向上はもとより、中心市街地活性化の中核施設として、にぎわいづくりの役目を果たすために、市民スペースや商業施設を導入します。オープンは、平成27年を予定しています。

図 政策企画課新庁舎建設準備室

(0826・11111 内線2202)



50年間市政の要であった
下高津一目の現庁舎

日本一住みやすいまち土浦をめざして

基本計画の概要 ～9つのキーワード～

基本計画は、これから新庁舎を設計するために必要な基本的な考え方をまとめるものです。これまで、さまざまな機会に市民の皆さんからお寄せいただいた意見や提案を取り入れながら、新庁舎に備える数々の機能について検討を進めています。



新しい市役所

中心市街地活性化

土浦駅前という立地、アクセス性の高さを活かし、まちのシンボルとなり、中心市街地の活性化に役立つ庁舎を目指します。

市民生活の利便性・快適性

窓口サービスの向上を図り、市民が気軽に利用できる交流スペースの整備など、市民が快適に利用しやすい庁舎を目指します。

だれにでも使いやすい

ユニバーサルデザインを取り入れ、分かりやすい窓口の配置など、だれにでも使いやすい庁舎を目指します。



安心で安全な市民生活

耐震性に優れ、災害に強く、安心で安全な市民生活を提供できる、防災機能の充実した庁舎を目指します。

環境にやさしい

自然エネルギーの利用、省エネルギーなど、環境負荷の低減を図り、環境にやさしい庁舎を目指します。

長い間使い続けられる

維持管理・保守が容易で、業務環境の変化に柔軟に対応でき、環境負荷および財政負担を低減する持続性の高い庁舎を目指します。

効率的で職員が働きやすい

職員が効率的に執務を行い、質の高い市民サービスを提供できる庁舎を目指します。





市民に開かれた議会

議場をわかりやすい位置に配置し、傍聴席、ロビーなど市民スペースを充実させた、開かれた議会活動が行える庁舎を目指します。

駐輪場・駐車場の整備

地下駐輪場、立体駐車場などを利用し、十分な駐車台数を確保し、来庁者の利用しやすい庁舎を目指します。

計画の推進に向けて ～今後の取り組みと事業スケジュール～

主な事業内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
基本構想・計画				
基本・実施設計				
改修工事				
庁舎移転				5月移転予定



特集

朝日トンネル

土浦—石岡

平成24年11月12日に開通した朝日トンネルは、土浦市小野地区と石岡市柴内地区を結ぶ、全長1784メートルのトンネルです。

平成18年11月に茨城県知事から合併市町村幹線道路緊急整備事業の指定を受けて以来、6年を経て開通に至ったこのトンネルは、両市の悲願でした。

今号では、両市の架け橋となるこの朝日トンネルの建設過程や、より近くなった石岡市の魅力にせまります。

路線のあらまし

朝日峠は土浦市と石岡市の境、筑波連山南東部に位置する標高298メートルの峠であり、峠道は通勤・通学や地域の生活道路として重要な役割を担っていました。また、頂上付近の「朝日峠展望公園」からは、霞ヶ浦や関東平野が一望でき、空気の澄んだ日には富士山も遠望できる絶景スポットとなっています。

しかし、この朝日峠の峠道は幅が狭く、急勾配なカーブが連続し、観光客を乗せた大型バスだけでなく一般車両の通り抜けも難しい状況でした。冬季には積雪や凍結によって通行が困難になることから、峠道のトンネル化が長年期待されていました。

平成24年11月12日、この朝日峠を貫く「朝日トンネル」が開通したことにより、約15〜20分を要していた峠越えが、約5分ほどに短縮されるとともに、円滑、安全な交通が確保され、この地域における「観光」、「産業」、「生活」に大きく貢献することが期待されます。



▲路面凍結などでたびたび通行止めとなっていた朝日峠



▲空からみた朝日トンネル

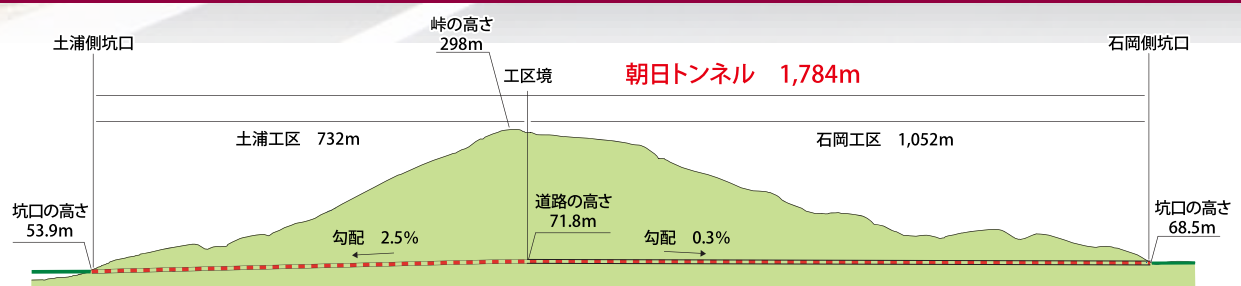


主な設備	
押しボタン式通報装置(消火栓付)	非常時に警察や消防などに通報できます。
非常電話	警察・消防に緊急連絡ができます。
誘導表示板	出口までの距離を表示します。
警報表示板	非常時に電光表示・サイレンで注意喚起します。
ジェットファン	非常時の排煙・換気を行います。

トンネル事業概要	
トンネル等級	A等級
トンネル延長	L=1,784m
車道幅員	W=6.0m(歩道なし)
換気方式	自然換気/非常時強制換気
内空断面	50.8~51.9㎡

全体事業概要	
事業名	朝日トンネル整備事業
事業箇所	土浦市小野～石岡市紫内地内
計画交通量	6,800台/日
道路規格	第3種第3級
設計速度	50km/h
全体事業延長	L=3,660m
供用開始	平成24年11月12日

トンネル縦断面図



朝日トンネルが できるまで

□朝日峠線道路整備促進協議会が発足【昭和62年】
旧新治村と旧八郷町などで構成。朝日峠のトンネル化の整備を県に要望する。

□つくば市・笠間市間道路整備促進協議会の設立【平成7年】
旧笠間市、旧つくば市、旧新治村、旧八郷町で構成。国道50号から県道土浦境界線までの道路整備を県に要望する。

□前記協議会に土浦市が加入【平成9年】
県に対し、積極的な要望活動を実施する。

□土浦市と新治村が合併【平成17・18年】
土浦市と新治村、石岡市と八郷町がそれぞれ合併する。

□朝日トンネル整備事業がスタート【平成19年】
石岡市と協力しながら、トンネルの詳細設計、地質調査、環境調査、用地測量などを始める。

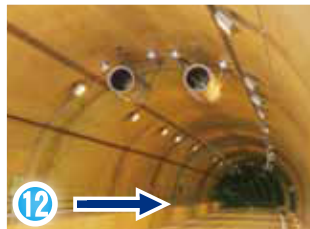
□トンネル本体工事に着手【平成22年】
土浦、石岡の両側から掘削が始まる。

□トンネルが貫通【平成23年4月】
その後、舗装・設備工事が始まる。

□トンネルの供用開始【平成24年11月12日】



トンネルが開通するまでに
さまざまな催しがありました



安全祈願祭

トンネル工事の着工前に、安全祈願祭を執り行いました。祭事に参列した関係者は、これから始まる工事が安全に完了するように祈願するとともに、自らの気持ちを引き締めました。

(平成22年3月25日)



トンネル貫通式典

土浦・石岡間1784メートルの掘削が完了し、トンネル坑内で式典を開催しました。「清めの儀」、「通り初めの儀」などが執り行われた後、樽神輿が担がれ、トンネルの貫通を盛大に祝いました。

(平成23年5月31日)



現場見学会

市民などを対象に、現場見学会を開催しました。(工期中随時)



到達式

石岡市への到達を記念して、到達式を挙行了しました。(平成23年2月28日)



貫通石のお守り



トンネル工事を のぞいてみよう

朝日トンネルの工事は、NATMという方法で施工しました。
NATMとは、掘削直後に地山に密着して吹付コンクリートとロックボルトを施工することで、地山の緩みを最小限に抑え、本来地山が有している支保能力を最大限に利用する工法です。

トンネル工事はどう進めるの？

- ① トンネルの入口(坑口)をつくる
 - ② ダイナマイトで表面を発破する
 - ③ ズリ(掘りだされた岩)を運び、表面を出す
 - ④ 鉄骨で側面を支える
 - ⑤ コンクリートを吹き付け安定させる
 - ⑥ ロックボルトを打ち込み補強する
 - ⑦ 測量で施工精度を管理
- ※②～⑦の作業を繰り返す。1日で4～6メートル進みます。
- ⑧ 側面に防水シートをはる
 - ⑨ コンクリートで覆う
 - ⑩ 道路舗装などの整備をする
 - ⑪ 坑門を整備する
 - ⑫ 設備工事を行う
 - ⑬ 完成

※工事現場から掘りだされた花崗岩



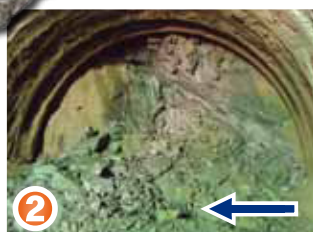
① ※トンネル工事前に、事務所の建設や騒音対策などの準備作業が行われます。



④



③



②



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

トンネルウォーク

開通前のトンネルを歩く、ウォーキング大会を開催。往復した約3500人の参加者に、完歩証明書を贈呈しました。特産物の販売や建設時の写真展示、スタンプラリーなどが行われ、大いに賑わいました。
(平成24年11月10日)



防災訓練

トンネル坑内で車両交通事故・火災が発生したことを想定した防災訓練を行いました。救助搬送や消火活動など、本番さながらの訓練が実施され、万が一の事故に備えた対処方法を確認しました。
(平成24年11月2日)



開通式・供用開始



当日は、新しいトンネルをいち早く通ろうと、車両の行列ができました。(平成24年11月12日)

トレイルラン・トレックウォーク大会

トンネル内やハイキングコースなどの山道を走るトレイルランを開催。トンネル周辺を散策するトレックウォークも行われ、約260人の参加者たちは、青空のもと筑波山麓の自然を満喫していました。
(平成24年11月3日)



花と歴史 浪漫香るまち 石岡



石岡のおまつり (常陸國總社宮例大祭)

毎年9月の敬老の日を最終日とする3日間に開催される祭り。江戸時代元禄期に「家内安全」、「無病息災」を祈願する祭として発展しました。格式高い神輿をはじめ絢爛豪華な山車や幌獅子が、40数台巡行します。

関東三大祭の一つとされ、3日間で40万人もの見物客が訪れます。



茨城県フラワーパーク

春と秋に650品種3万株のバラが咲き競うバラのテラスや、200品種のボタン園、日本一の群生を誇る100万株のシャガと1万2000株のやまゆりなど、筑波山の懷に抱かれた花と緑の楽園です。

ふれあいの森では、総延長800メートルの花のすべり台やフラワーサイクルが楽しめます。



体験型観光施設 朝日里山学校

木造校舎の元小学校を活用した体験型の観光施設。田植えや野菜の収穫などの「農業体験」、地元食材を使用したピザ作りやそば打ちなどの「食の体験」など、自然を活かした色々な体験メニューが楽しめます。

土浦市の北に位置する石岡市。この地域は、筑波山麓の豊かな自然に抱かれ、癒しの里であると同時に、西暦646年大化の改新によって常陸の国の国府が置かれ、以来1300年という悠久のときが眠る歴史の里でもあります。ここでは、朝日トンネルの開通によってより身近になった石岡市の魅力を紹介します。

歳時記

4月 さくらまつり(常陸風土記の丘)

4月上旬のソメイヨシノからはじまり、シダレザクラ、ボタンザクラと、約1か月間桜を楽しめます。

6月 ゆりまつり(常陸風土記の丘)

水際公園を中心に、鮮やかな赤、黄、橙色のスカシユリの花が夏の青空に向かって咲き誇ります。

6・10月 バラまつり(茨城県フラワーパーク)

園内に漂う上品な香りと華麗なバラに囲まれながら、優雅なひと時を楽しめます。

7月 柿岡のおまつり(柿岡地区)

県指定無形民俗文化財の柿岡からくり人形や、館の獅子、荒宿ささら、山車などが練り歩きます。

8月 真家みたま踊り(真家地区)

平安時代から続く念仏踊りで、国選択無形文化財、県指定無形民俗文化財に指定されています。

9月 石岡のおまつり(石岡市内)

富田ささらと呼ばれる供奉行列や石岡ばやしなども県指定無形文化財に指定されており見逃せません。

2月 石岡ひな巡り(石岡市内)

石岡駅前前の御幸通りや中町通りの約100店舗の店先に、つるし飾りやひな人形などが飾られます。



果物狩り

石岡市は豊かな水と温暖な気候に恵まれ、上質な果物が生産されており、中でも毎年皇室へ献上されている富有柿は石岡の誇るブランド柿として有名です。

さまざまな果物が栽培され、観光果樹園では1年を通じて果物狩りが楽しめます。週末や休日は多くの来園客で賑わっています。

さまざまな果物が栽培され、観光果樹園では1年を通じて果物狩りが楽しめます。週末や休日は多くの来園客で賑わっています。



土浦市公園街路課
主査 草間正志さん

このたびのトンネル整備は、両市にとって未経験の事業でした。事業を円滑に進めるため、立場の異なる担当職員同士が一緒にいる時間を確保し、綿密な情報共有と打合せを繰り返し行いました。共に協力し合っており組んだ結果、当初予定してい

「完成」という共通目的 絆が結ぶトンネル

た工期を数か月短縮して開通を迎えることができました。この事業に携わった多くの担当者が、完成という一つの結果を目指し尽力してきました。そうした経験を通して、単なる「市道の完成」という事実だけではなく、さまざまなものを得ることができたと感じています。このトンネルが、両市の観光・自然・歴史資源を結びつけ、ヒト・モノ・情報を運ぶ重要な基盤として活用され、両市がいつそう発展していくことを切に願っています。



石岡市商工観光課
課長 越渡康弘さん

朝日トンネル開通を記念した両市主催のトレイルラン大会の開催に際し、土浦市の皆さま方には大変お世話になりましたこと、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。このたび、待望の朝日トンネルが開通したわけですが、この

地域の活性化 両市の連携がカギ

開通に伴って土浦市と石岡市を結ぶ円滑な交通網が確立されたことは、両市の発展に多大な効果を及ぼすと確信しています。特に観光面においては、両市が連携し、互いが持つ豊富な観光資源を有機的に結合させることで、魅力ある地域が形成され、首都圏などからの交流人口が増加していくのではないかと考えています。今後さらなる連携と英知の集結することで、両市の観光振興、ひいては地域振興が図られることを期待しています。

小町の館が リニューアルします

小町の館は、来訪者の休憩施設や、そば打ちなどの体験が出来る工房棟を新築しています。

また、本館も全館改修工事を行い、小野小町の伝承や小町の里周辺および市内の各種情報を提供する、ビジターセンターとしての機能を持った、おもてなしに満ちた交流拠点として生まれ変わります。

問 商工観光課 ☎826-1111 内線7605

平成25年3月下旬完成予定



小町の館完成予想図



土浦市農業委員
藤井義勝さん

開通当日やトンネルウォークは、今までにない賑わいを見せ、小町の館近辺も開館以来最も来客があつたように思います。開通後も散策などを楽しむ家族が多く訪れ、「トンネルの効果」を感じています。この効果を一過性のものにせ

地元と行政の協働でつくる 新たな魅力発信地へ

ず、周辺地域を単なる通過点にしないためには、誰でも気軽に訪れることができる雰囲気作りや魅力発信が必要だと考えています。そのためには地元の人々が地域の活性化に関心をもち、行政と一体となって盛り上げていかなければなりません。私自身も草の根運動ではあります、草花を植えるなどの取り組みをしてきました。行政と共に、地元の手で地域を元気にする。トンネルの開通がその契機になってくれることを期待しています。

新春

文芸

今年の初夢

土浦市で世界遺産を目指そう



土浦市立博物館長
上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長
茨城大学名誉教授

茂木雅博

博物館では昨年度特別展「暮らしをささえる女性たち」を開催した際、1260年ぶりに調布（奈良・法隆寺所蔵）を里帰りさせ、7000人を超える来館者に観賞して頂きました。調布の里帰りは私が館長をお引き受けした時の約束でした。博物館に足を運んでくださった市民の皆様から御礼申し上げます。

私の今年の初夢は土浦市を中心にした「仮称」霞ヶ浦と筑波山を背景とした常陸国風土記の世界」が世界遺産に登録された夢です。なぜこのような夢を抱いたかと申しますと、私は霞ヶ浦の対岸麻生

町（現行方市）の生まれで、高校まで麻生で育ちました。そのころ何かあると必ず船で土浦にやってきました。麻生から見れば土浦は都会で、駅前にはヒマラヤ杉と噴水があり、亀城公園までは商店が軒を並べて、大変な賑わいでした。

しかし5年前に館長として赴任して見ると、シャッターの開かない店が多く往時の面影が見られませんでした。以来、自分がどんな知恵を出せばこの街の活性化が成るかを思考してきました。筑波山と霞ヶ浦の豊かな自然環境はかけがえのない、構成資産になるのではないか。しかも古代に残され



天王崎から見た霞ヶ浦と筑波山



た「常陸国風土記」の世界を売り
にすれば、数年の間に暫定登録に
こぎつけられるのでないか。更に
霞ヶ浦沿岸には構成資産となる原
始・古代の遺跡が無数に存在しま
す。土浦市上高津貝塚、美浦村陸
平貝塚、稲敷市広畑貝塚、香取市
阿玉台貝塚、同良文貝塚、成田市
荒海貝塚などの日本を代表する貝
塚群の国史跡があり、石岡市舟塚
山古墳、風土記時代の筑波郡衙跡、
香取神宮の海獣葡萄鏡、鹿島神宮
の直刀などです。



日本人がはじめて発掘した『陸平貝塚』

世界遺産の構成資産は国宝およ
び国指定史跡が原則ですので、こ
の運動の間に全国的に知名度の高

い稲敷市浮島貝塚、同椎塚貝塚、
同福田貝塚、潮来市狭間貝塚、行
方市大宮台貝塚、同於下貝塚、同
若海貝塚、同鬼越貝塚などが加え
られる可能性があります。

また、霞ヶ浦沿岸は水郷・筑波
国定公園でもあり、霞ヶ浦沿岸に
は長距離のサイクリングロードも
既に整備されています。これらも
構成資産としては大変重要な要素
であり、更に霞ヶ浦の遊覧船ホワ
イトアイリス号とジェットホイ
ルク号も湖面クルーズの重要な
要素となります。その為には、霞ヶ
浦の麻生・玉造・浮島・高浜・佐
原・鹿島などに棧橋施設の再整備
が必要になるでしょう。

更に重要な点は茨城空港の有効
利用です。世界各国からの交通ア
クセスを活かして観光客に利用し
ていただくことも空港維持にとつ
て極めて大きな要素となるでしょ
う。

この夢は土浦市を中心につくば
市、石岡市、小美玉市、かすみが
うら市、阿見町、美浦村、稲敷市、
行方市、潮来市、鹿嶋市、千葉県
香取市、同成田市などのいわゆる
古鬼怒湾一帯の広域にわたる範囲
の構成資産から成立するもので近
隣市町村の連携が必要です。

もし、この夢がかなうならば土

浦市の活性化は勿論のこと、霞ヶ
浦沿岸地域の活性化もかなうに違
いなく思っております。



遊覧船『ホワイトアイリス号』

※構成資産とは、世界文化遺産と
なりうる対象の「顕著な普遍的
価値」を具体的に証明するもの
として選ばれた資産のこと。実
際に構成資産とするためには、
対象との関連性の証明だけでなく、
国から重要文化財や天然記
念物、特別名勝などに指定され
る必要があります。

※古鬼怒湾とは、縄文時代、関東
平野の銚子方面から利根川低地
沿いに広がっていた海のことです。



遊覧船から望む土浦市街

新春文芸

新春に詠む短歌

採りたての水菜に纏わるはこべらを七草粥にと夕べ取りおく

収穫した水菜に、一緒に育ってきたはこべが絡まっている。
七草粥に入れようと思い、選り分けて洗い、明日の朝に備えた。

相川 盈子

初詣で山門くぐる人の波みな晴れやかなる面持ちをして

大晦日の気忙しさから解放されて清々しい元日の朝、誰もが今年こそ...と願いを込めて参拝するのであろう。

井坂 久子

地震揺れし郷は変わらず竜ヶ峰宝筐小野の峰新春に聳つ

未曾有の震害にも故郷の山々は集落を守ってくれ、他よりも被害は少なかった様です。改めて新春に感謝し復興を祈ります。

荒井 洋子

筑波嶺のいずこよりなる梵鐘の青き麦の穂たたせて渡る

筑波山の麓にひろがる麦畑。穂先が一直線に並ぶのが心地よい。どこからか聞いてくる梵鐘。今年もいい年になりそうな。

海老沢幸子

晴れ着着て石亀またぐ孫娘はしやぐ姿に神にか笑い

孫娘が両方の爺婆と両親、その他の人々を引き連れて七五三参り。秋の日差しに晴れ着と白足袋が映え、幸せを感じた。

秋谷 英雄

西浦に昇る朝日の煌めきて一天四海の平和を祈る

霞ヶ浦の湖畔に育ち、輝く湖面を見ておりました。嘗て爆弾の跡が数多ありましたが、今は蓮が続く。世界中が平和でありますよう。

塚原 洋子

庭先の小枝にみかん挿し置けば目白は絶えず日がなきえざる

桜の名所、竜ヶ峰の我家には餌をもとめ来る小鳥が集まる。みかんの黄と目白の羽根の翠のグラデーションはわが宝の宝です。

和気 明美

酒好きもおると聞きたり祖先に たつぷり供えぬ正月の酒

顔を知らぬ先祖には、大酒飲みの人もいたとか。そんな話を思いつつお正月には盃になみなみと注いだ酒を供える。

平澤 良子

わが打ちし不揃いの蕎麦に満ち足りて常の心に年越さむとす

三回ほどそば打ち講習会に参加しましたがなかなかうまくできません。それにしても「常陸秋そば」はとても美味しいですね。

市島 紀郎

ささめ雪はつ雪こな雪ばたん雪紅き椿に仄と降る雪

雪にまつわる美しい言葉は他にもいろいろある。雪国では雪の被害も少なくないが、紅い椿にうつすら降り積る雪は風情がある。

井上 寛江

強ばりし頬に手を当て温めつ筑波山頂に初日拝む

人生終の日までを、豊饒とした生でありたい。そんな願いが筑波登山となった。今年も可能な限り登山を続けたい。

松崎 國男

うち晴るる西浦湖畔に白鳥も鴨も憩ひて春を待ちをり

霞ヶ浦は一定期間飛来する野鳥の宝庫と呼ばれている。多種の水鳥が生息し、湿生草原が分布する西浦の冬景色は趣深い。

福原 安栄

町中にひびき渡りしカリヨンの「ゆうやけこやけ」こころ急げり

五時になると、教会で撞く鐘のように「ゆうやけこやけ」は町中にひびき渡る。いそいそと家路に向かう人の心を安らかにして。

井上 秀子

初春の黎明の霞ヶ浦に白鳥は波煌めかせ羽搏き交わす

誇れるわが郷土の霞ヶ浦へ、遥かシベリアより海を越えて白鳥が飛来する。夜明けと共に白鳥は一斉に羽搏いて挨拶を交わす。

櫻井 雅江

高山の奥に入り来る人もなし木通を凝視めわれは居たりき

秋もたけなわの高山に入ったのですが誰もいません。震災以来の風評のせいかと思う。変わらない自然の営みに感銘を受けます。

柳田 覚

あけ初めし東の空に煌々と瞬く明星を標と見上ぐ

冴え渡るあかつきの東天に、輝く「明けの明星（金星）を見上げていると、道標のように思えて心に沁みてきます。

大越 里子

新春に詠む俳句

頃合に人の出てくる初参り

家族全員揃うまでに時間がかかる。お父さんは屠蘇機嫌。子供はぼち袋の収納。お母さんはしんがりで参加。お隣も同じ雰囲気。

一本の大樹の眠り冬ど真ん中

葉を落とし素っ裸の大樹と正面から向き合う。耐えることや、希望を持つ喜びが無言の中に伝わって来る。そして今年も頑張れよと。

譲れない一枚も有り恋歌留多

中高生の頃、正月の百人一首。私はいつもお気に入りの札の位置を確かめる。誰にも取らせまいとしている自分がそこに居た。

初山河水郷に住み三十年

筑波山を仰ぐ土浦に三十余年、第二の故郷にすっかりなれた。今年もまた紫峰を眺めながら暮らしていくことであろう。

初泳ぎ八十路の人と手をつなぎ

水に浮き、水をかき、進む楽しさに魅せられて十年余。今年も元氣な八十才を過ぎた方を、見習っていききたいと思う。

淑氣満つ杜は要の石を抱き

鹿島神宮の杜深く、四角に注連縄が張られ一部が地表に出ている要石は神秘的。地震を鎮めるといふ謂れに詣でる人も多い。

弾き初めのピアノに母子声ひびき

新年のゆったりとした時間、子供たちの弾くピアノを聴いている。普段は忙しい母も加わり素敵なメロディーが流れる。

行商の言葉失ふ福寿草

日を浴びて黄金に輝く福寿草の美しさ。行商人と共に息を凝らして見つめるばかりです。平穏な一年を願いつつ。

大久保秀夫

狩谷 諭

加藤 節子

関沢 美江

澤辺 榮子

古橋 初子

沼尻 芳子

根本 晴市

新春に詠む川柳

一声で笑顔とわかる初電話

新年の祝い事の席に初電話が。笑顔そのもののような声が響いてくる。新年を迎えた喜び溢れた幸せを載せ。

知らん顔してた日の出に今朝は礼

大昔から太陽は万物を育む神のような存在。その初日の出に一年の幸せを願って手を合わせる。普段とは違うお日様に襟を正す。

笑い皺増えてめでたい初鏡

新春を迎え、女性の身嗜みと鏡に向き合う。年相応に増えた皺は幸せな笑い皺です。新年おめでとう。

百八ツ終えぬうちからもうお屠蘇

酒呑みは仕方のないもので、屠蘇の仕度ができていると見るや、除夜の鐘の音を肴に、もう始めてしまふ。

万人に夢を与える初日の出

初日の出は、宗教・人類に隔てなく等しく笑顔を見せてくれます。私たちもこれに応えたいものです。

年始には笑い袋を一つ持ち

世の中暗いニュースばかりです。せめて正月ぐらいいは笑顔で過してもらいたく笑い袋を持って出掛けることにした。

重箱の晴れの舞台のお正月

普段は奥にしまい込まれている重箱、お椀などの漆器類それを取り出して使いこなすことは主婦にとつてうれしいことです。

梯子乗り歓声あびて凜と立つ

新春の風物詩出初式の梯子乗りの、凜凜しく格好いい演技に気合が入る。低迷の続く世の中、せめてポジティブに過こしたい。

加藤 光山

富永 柳道

矢野 光子

大井つかさ

中島みさお

太田 鳴子

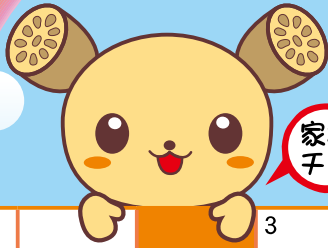
兵藤猫目石

石引たか女

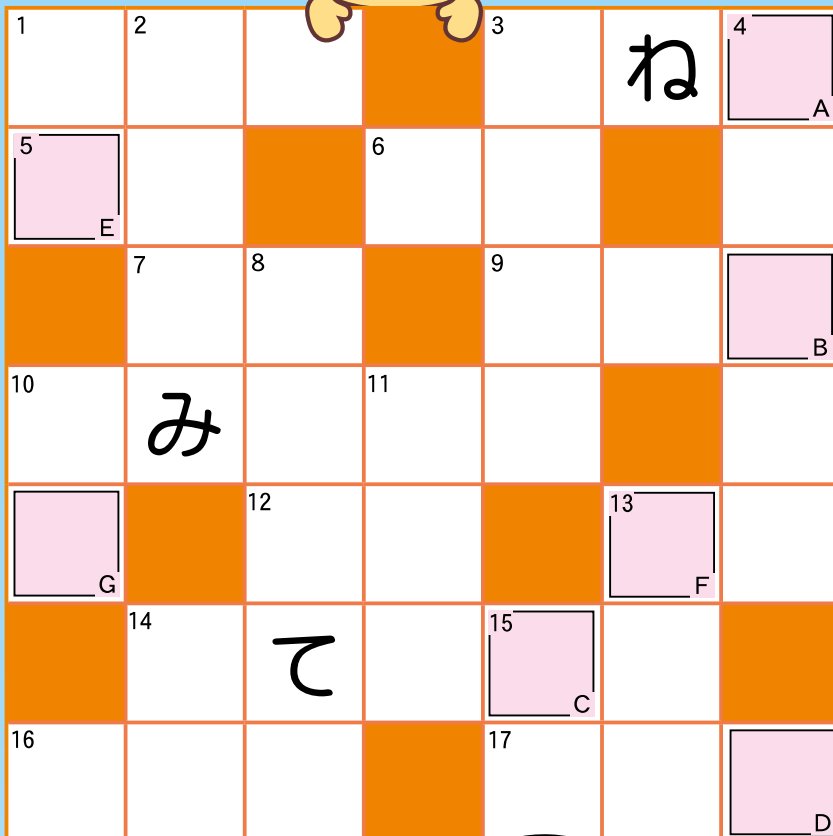
お年玉 プレゼント付き

新春

クロス ワード パズル



家族みんなで
チャレンジしてね!!



A～Gの文字をならべて
言葉を完成させてね!
答え「A B C D E F G」

よこのかぎ

- ①土浦市の花。春の風物詩
- ③殺菌のために〇〇〇処理する
- ⑤人口が集中している地域
- ⑥土浦まちかど〇〇
- ⑦災いの多いとしを「〇〇どし」といいます
- ⑨正月に食べるお重に入ったお祝いの料理
- ⑩土浦市白鳥町にあるかやぶき屋根の住宅。県指定の文化財
- ⑫ブラジルのお祭。〇〇のカーニバル
- ⑬仙台市の名物「牛〇〇」
- ⑭宿泊施設のフロントや玄関でお客さんにサービスを提供する男の人
- ⑯神社の入口にある門
- ⑰ハワイにある望遠鏡の名前。冬の夜空に青白く輝く星団

たてのかぎ

- ①正月に「〇〇帰りをする」。こまの〇〇
- ②鼻の奥をくすぐると出るもの
- ③歌を唄いに「〇〇〇〇BOX」へ行く
- ④土浦市の地球温暖化防止シンボルキャラクター
- ⑧性質。品質
- ⑩和室にある掛け軸や花を飾るところ「〇〇の間」
- ⑪ページ「花と歴史浪漫〇〇〇まち石岡」
- ⑬正月料理に欠かせない黒豆といえは「〇〇〇黒大豆」
- ⑭城や古墳の周りにある敵の侵入を防ぐための溝
- ⑮尺貫法の体積の単位。花火大会の「〇〇席」



正解者の中から抽選で「つちまるぬいぐるみ」を1名に、「つちまるぬいぐるみストラップ」を5名にプレゼント! 正解は2月上旬号に掲載する予定です。

応募方法／①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤職業、⑥広報紙へのご意見・ご感想などを記入し、官製はがきまたはファクスで申し込みください。

※応募は、1家族につき1通までとさせていただきます。

応募締切／1月31日(木)(当日消印有効)

当選者の発表／商品の発送により代えさせていただきます。

問 広報広聴課(〒300-8686 下高津一丁目20-35)

☎826-1111 内線2331 FAX826-3401

■発行 土浦市

〒300-8686 土浦市下高津一丁目20番35号

☎029-826-1111

E-mail info@city.tsuchiura.lg.jp

HP http://www.city.tsuchiura.lg.jp/



スマートフォン用ホームページ▶

■編集 市長公室広報広聴課

■人口と世帯数 14万3275人 5万8061世帯

(平成24年12月1日現在)



この広報紙は環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用しています。

次回「広報つちうら」1月中旬号は、1月15日(火)発行予定です。